

《兵庫県細胞検査士会メールジャーナル ☆2021年 5月号☆》

【目次】

1. お知らせ
2. 地区委員のコラム(片山 裕司)
3. 編集後記(ジャーナル担当)

1. お知らせ

- 1)細胞診断能力開発プロジェクトについて
- 2)「子宮の日」LOVE49キャンペーン in KOBE について
- 3)IAC 資格認定試験について
- 4)第82回細胞検査士ワークショップについて(NEW !)
- 5)2021年細胞検査士資格更新について(NEW !)

1)細胞診断能力開発プロジェクト(プロジェクト ABCD)について:兵庫県細胞検査士会 会長 鳥居良貴

兵庫県細胞検査士会ホームページにて「ABCD プロジェクト」を開催中です。

お知らせしておりますように、このプロジェクトはセルフスタディとして、Self-Study Survey(自己学習のための細胞テスト)

ということが目的で、外部精度管理ではありません。

強制ではなく自由参加であり、教育的視野から自己学習を行う形式として実施させていただきます。

兵庫県細胞検査士会のホームページ(<http://hyogoct.com>)のトップページにあります「症例検討」から入ってください。

症例検討 → パスワード入力くださいとありますから 半角にて下記入力ください。

パスワード:8AQ4hd63eF

実際に試行していただき、ご意見ご感想がございましたらメーリングリストにお寄せください。

よろしくお願いいたします。

2)「子宮の日」LOVE49キャンペーン in KOBE について

今年度、2020年4月12日に開催を予定しておりました LOVE49 キャンペーン in KOBE は、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し開催延期となりました。

リーフレット等の配布は感染拡大防止対応として中止となりましたが、2021年2月14日より、「LOVE49キャンペーン in KOBE ONLINE」

として YouTube と Facebook で動画配信によるキャンペーンを行っています。

下記、URL より閲覧が可能ですので、皆様よろしくお願いいたします。

公式サイトからは <http://love49kobe.com/>

Facebook は <http://www.facebook.com/LOVE49KOBES>>

3)2021年 IAC 資格認定試験について

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、本年2021年に実施予定とされていた IAC 資格認定試験の実施時期を2022年春へ延期することが決定致しました。

詳細につきましては、決まり次第ホームページにて公表させていただきます。(日本臨床細胞学会 H.P.より引用)

[日本臨床細胞学会 IAC 資格認定試験について](#)

4)第82回細胞検査士ワークショップ【WEB 開催／講義のみ】について 実行委員長:鳥居良貴(兵庫県細胞検査士会 会長)

第82回細胞検査士ワークショップが下記の通り開催されます。

開催期間:7月30日(金)9:00~8月9日(月)9:00

変更 ↓

開催期間:7月30日(金)9:00~**8月10日(火)9:00**

受付期間:5月24日(月)正午~6月11日(金)正午

受講料:4,400円(税込み)

参加単位:10単位

<講師および内容一覧>

～婦人科領域～

頸部腺系を中心に 棟方 哲 先生（市立函館病院 病理診断科）

症例を用いて鑑別講義 佐藤 大樹 技師（市立函館病院 病理診断科）

～呼吸器～

悪性体腔液の診断の strategy ～細胞像からどこまで原発巣に迫れるか？～ 河原邦光 先生（大阪はびきの医療センター）

症例を用いて鑑別講義 松本 慎二 技師（福岡大学病院 病理部）

～消化器～

GIST の病理と遺伝子異常 廣田 誠一 先生（兵庫医科大学病院 病理診断科）

症例を用いての鑑別講義 長友 忠相 技師（大阪大学医学部附属病院 病理部）

～乳腺～

乳腺疾患の最近の話題 鹿股 直樹 先生（聖路加国際病院 病理診断科）

症例を用いての鑑別講義 小川 命子 技師（聖路加国際病院 病理診断科）

出来る限り、多くの会員の方に案内・参加していただければと思います。

どうぞ、ご協力の程よろしくお願いいたします。

尚、詳細は日本臨床細胞学会ホームページよりご確認ください。

[第82回細胞検査士ワークショップ](#)

5)2021 細胞検査士資格更新について

細胞検査士資格更新についての案内が、日本臨床細胞学会ホームページに掲載されております。

対象の方は、下記リンクよりご確認ください。（今年はグリーンカードが対象です）

[2021細胞検査士資格更新について](#)

2. 地区委員のコラム JCHO 神戸中央病院 病理診断科診療部 片山 裕司 「きゅうきゅう、たったりたたり、きゅう」

神戸地区・地区委員の片山 裕司です。どうぞ、よろしくお願いします。

今回は、僕の習い事でのお話をさせていただきたいと思います。

僕は、ここ数年、剣道を習っています。

上の子が、年長の時に、一緒に習い始め早10年目となりました。

10年目と言っても、偉そうにはとても言えず、実力も悲しいぐらいで、最近では子供にも負けそうです。(親の威厳が。)

それはさておき、最近、持ち前のマイペースさに、このコロナ禍が加わり、なかなか稽古に顔を出せていなかったのですが、

久々に、その日、部活の無かった子供と稽古に行った時に、1人の先生(お歳は80歳を過ぎてらっしゃる)があるお話をして下さいました。

「先生、お久しぶりです。なかなか来れてなくて申し訳ありません。」と言うと先生は、「ちょっとこちらにいいですか」と言われました。

何だろうと思いながらも、ホワイトボードの前に連れて行かれると、右肩上がりで、アップ・ダウンのある曲線を描かれました。

「きゅうきゅう、たったりたたり、きゅうと言う言葉をご存じですか？」と先生に聞かれました。

僕は、「いえ」と答えると、先生は「物事には、何をやっても良い時と悪い時がある」

「きゅうと言うのは、物事が上手くいっている時で、何をやっても上手くいき上達していく事を示しています。」

「逆に、たたりとは、何をやっても上手くいかず、なかなか上達しない事を示しています。」

「だけど、こんな時でも辞めてはいかん」

「上手くいかない時でも、たったりたたりと続けていれば、必ず、きゅうと上がってくる時が来る」

「ですので、剣道に関わらず何事も細く長く続けなさい。辞めたら終わりですよ。」とおっしゃりました。

確かに、このコロナ禍はとんでもない「たたり」で、色々な事が続けていけるのか不安でした。

ですが、この先生のお話を聞き、また必ず良い時(きゅう)が来ると信じて、今は耐えるしかないなと言う気持ちになりました。

仕事もプライベートも「きゅうきゅう、たったりたたり、きゅう」の精神で何事も頑張っていきたいと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

3. 編集後記 ジャーナル担当:岡田、片山、黒田、坂本、濱武

5月になりました。

5月と言えば、少し暑いものの、基本的には良い気候と言う印象を編者はもっています。

しかし、今年はまさかの梅雨入り。

しかも、昨年よりも21日も早いそうですね。

逆に、梅雨明けは昨年よりも25日早いとの予想まで出ています。

とても珍しい現象ですが、地球温暖化なども関係しているのでしょうか。

雨が降ろうとも、こちらはエコバック片手に CO2(二酸化炭素)削減と頑張っていますので、

せめて、雨による自然災害だけは起きないで欲しいと願います。

※兵庫県細胞検査士会では、メーリングリストへの登録をお願いしています！

兵庫県細胞検査士会メーリングリストでは、メールジャーナルを初め、勉強会等、様々な情報を配信しています。

ご職場やお知り合いの方などで、登録が未だの方がいらっしゃれば、ぜひこの機会にお勧め下さい！

皆様のご協力をお願いいたします。

メーリングリストへのご登録、変更および登録解除はこちらから↓

[兵庫県細胞検査士会 メーリングリスト](#)

兵庫県細胞検査士会へのお問い合わせはこちらから↓

[兵庫県細胞検査士会 お問い合わせ](#)

兵庫県細胞検査士会ホームページ↓

[兵庫県細胞検査士会ホームページ](#)